

指標の分析

施設整備計画(平成27年度～令和6年度)における進捗率は順調に推移しており、総合計画基本計画に掲げる令和元年度目標値も達成している。

4. 施策の評価

これまでの主な取組と成果

- ①消防署所適正配置事務では、平成26年度に「埼玉西部消防組合消防力適正配置調査報告」から現在の署所配置での運用効果は総じて高いとの結果を受けた。また、消防署所の適正配置に係る検証会議を平成27年度に4回、平成28年度に7回、平成29年度に1回開催し、消防署所の適正配置に係る調査、研究を行った。さらには、平成30年度に署及び分署の受持区域を「埼玉西部消防組合消防署の組織に関する規程の一部を改正する訓令」で定めた。
- ②消防施設整備事業では、令和元年度は、施設の長寿命化及び機能強化を目的に飯能日高消防署の訓練塔の改修を行ったほか、移動式訓練ハウス2棟を購入し、実災害に近い訓練環境の整備を図った。
- ③消防施設管理事業(通信指令センター・各消防署)では、「所沢中央消防署トイレ改修工事(東側系統)」及び「狭山消防署富士見分署事務室及び仮眠室屋根・外壁塗装改修工事」を行い、維持保全と長寿命化を図った。

今後の課題

- ①消防施設整備事業では、今後20年間で消防庁舎の95%が築年数30年以上となり、高度成長期に建設された庁舎の一斉老朽化に伴い多額の改修費用を要することが予想されることから、今まで以上に効率的かつ効果的な財政運用が必要になる。このため消防需要及び管内人口等の変化に基づく施設整備の優先度を考慮し、施設整備に係る財政負担と効果を適正に見極め、地域の防災拠点としての機能強化を図る必要がある。
- ②消防施設管理事業(通信指令センター・各消防署)では、消防庁舎の多くが老朽化した状況下において、修繕及び改修に係る経費の増加が懸念される。

今後の展開

- ①消防署所適正配置事務では、適正配置調査の結果並びに署及び分署の受持区域の規定を受け、消防署所適正配置事務(消防局)の調査研究は終了とする。しかし、埼玉西部消防組合公共施設等総合管理計画の枠組みでの連携が強いことから、今後は「企画調整事業(消防局)」の中で進行管理を行っていく。
- ②消防施設整備事業では、首都直下地震が今後30年以内に70%の確率で発生すると予測され、住民の安全・安心のため、施設整備計画を消防組合の総合計画、総合管理計画及び長期財政計画との整合性を図りつつ、施設の保全状態及び緊急度や重要度に応じて毎年度見直しをするとともに、計画に基づく実施結果を報告することで、施設整備計画の信頼性の向上を図る。
- ③消防施設管理事業(通信指令センター・各消防署)では、通信指令センターや各消防庁舎を地域の防災拠点として良好な状態で維持保全するため、限られた財源を勘案し、緊急度や優先度に応じて計画的に修繕及び改修を実施していく。

5. 構成事務事業の評価

| 事務事業名 | 主要施策名 | 事業種別 | 令和元年度 | 事務事業 評価/ 総合評価 | 有効 度 | 優先 度 |
|----------------------|---------------|-------------------|---------|---------------------|---------|---------|
| | | | 決算額(千円) | | | |
| 1 消防署所適正配置事務(消防局) | 211 消防署所の適正配置 | 行政管理(財産等管理/任意) | 0 | D 3 | B | C |
| 2 消防施設整備事業(消防局) | 212 消防施設の適正整備 | 施設管理(施設の維持管理/法律等) | 117,614 | A | A | A |
| 3 消防施設管理事業(消防局指令管理課) | 213 消防庁舎の適正管理 | 施設管理(施設の維持管理/要綱等) | 7,047 | B 1 | A | A |
| 4 消防施設管理事業(所沢中央消防署) | 213 消防庁舎の適正管理 | 施設管理(施設の維持管理/法律等) | 83,653 | B 1 | A | A |
| 5 消防施設管理事業(所沢東消防署) | 213 消防庁舎の適正管理 | 施設管理(施設の維持管理/法律等) | 17,919 | B 1 | A | A |
| 6 消防施設管理事業(狭山消防署) | 213 消防庁舎の適正管理 | 施設管理(施設の維持管理/法律等) | 35,620 | B 1 | A | A |
| 7 消防施設管理事業(入間消防署) | 213 消防庁舎の適正管理 | 施設管理(施設の維持管理/法律等) | 20,600 | B 1 | A | A |
| 8 消防施設管理事業(飯能日高消防署) | 213 消防庁舎の適正管理 | 施設管理(施設の維持管理/法律等) | 37,812 | B 1 | A | A |
| 9 | | | 0 | | | |
| 10 | | | 0 | | | |
| 11 | | | 0 | | | |
| 12 | | | 0 | | | |
| 13 | | | 0 | | | |
| 14 | | | 0 | | | |
| 15 | | | 0 | | | |
| 16 | | | 0 | | | |
| 17 | | | 0 | | | |
| 18 | | | 0 | | | |
| 19 | | | 0 | | | |
| 20 | | | 0 | | | |
| 小 計 | | | 320,265 | | | |
| 合 計 | | | 320,265 | | | |

| | |
|----------------|---|
| 構成事務事業の 適当性 | <p>消防施設の長寿命化を図るための消防施設整備事業及び消防施設管理事業の取り組みは、着実に進められ、成果がみられた。よって、構成事務事業の適応性は高いものと評価する。</p> <p>なお、消防署所適正配置事務(消防局)については、適正配置調査の結果並びに署及び分署の受持区域の規定を受け、消防署所適正配置事務(消防局)の調査研究は終了したことから、事業としては完了する。</p> <p>しかし、埼玉西部消防組合公共施設等総合管理計画の枠組みでの連携が強いことから、今後は「企画調整事業(消防局)」の中で進行管理を行っていく。</p> |
|----------------|---|